

## Y2Kによる我が国への影響について

平成12年1月1日午前10時現在

### 2. 具体的事例

#### (1) 電力

・0:02に東北電力女川原子力発電所1,2号機において「プロセス計算機検出器故障」警報が発報し、0時12分に自動で正常に復帰した。その後、8時02分にも同じ警報が発報し8時12分に自動でクリアした。また、その後の調査で、昨年11月及び12月にも複数回、同じ警報が発報していることが判明。以上の点及びコンピュータについてはY2K対応のプログラム改修及び模擬試験が行われていることから、原因がY2Kとは考えられないが、原因調査を行う。

・北陸電力(株)志賀原子力発電所1号機において、0時以降、安全パラメータ表示システム(SPDS)の表示に不具合が生じていることが確認された。Y2Kとの関連を含め、原因については現在調査中です。(SPDSは通常原子力発電所の運転状態の監視を行うものではない。)

・1月1日2:00頃関西電力(株)高浜原子力発電所関係の舞鶴市内にある2カ所のモニタリングポストのデータを京都府へデータ伝送ができていないことが判明。なお、伝送は6時30分ごろ復旧済み。原因については現在調査中。

#### (2) ガス

#### (3) 上水道

#### (4) 石油

#### (5) 核燃料施設等

#### (6) 電気通信

・監視系日付処理の一部に不具合が発生したが、手動により修正し、2時43分に復旧した。なお、通信の疎通には、影響はなかった。

#### (7) 放送

・1月1日、5:00頃(株)小田急情報サービスにおいて約100世帯のホームターミナルで障害が起き、正しいチャンネルが映らなくなったが、改めてチャンネルの信号を送信しなおし、対処した。原因については、現在調査中である。

#### (8) 金融

#### (9) 航空

・ サテライト空港運航管理卓経由のノータム（航空情報）、気象情報の入手が困難になった。上記情報による情報入手は、二次的手段であり、別途、電話、FAX等により、関係情報は入手可能なことから、通常どおりの運航は可能。原因については現在調査中。

#### （10）海運

#### （11）鉄道

・ 東日本旅客鉄道盛岡支社及び水戸支社のオレンジカード専用自動券売機の一部に障害が発生し、復旧作業中であったが8：15全て復旧した。

・ 東日本旅客鉄道の山手線、京浜東北線の一部の駅のLED発車標で障害が発生し、一部の列車の誤表示があったが、5：49復旧終了。

・ 大井川鉄道川根町家山地内停電のため（中部電力）地名駅出発信号機不現示。代用閉そくにより再開し、6：38復旧終了。

#### （12）医療

#### （13）政府部門

・ 高感度地震観測システムの地震データは防災科学技術研究所と気象庁大阪管区气象台において送信されており、防災科学技術研究所においては受信されていることから、地震観測体制には影響はない。

・ 気象庁が保有するシステムの気象資料伝送網の一部の端末で西暦が100と表示された。この端末に表示される年表示による業務上の支障は全くない。すでに3時頃復旧済み。

#### （14）信号機

#### （15）通関

#### （16）入国管理

#### （17）地方公共団体

・ 石川県環境放射線監視システムのデータが表示されなくなった。原因は調査中。FAX配送による応急対策を実施。

#### （18）地域情報